

令和2年度第1回

平塚市文化財保護委員会 会議次第

日時：令和3年2月9日（火）

午前10時から

場所：平塚市役所本館7階 720（2）会議室

平塚市文化財保護委員会 会議

あいさつ

1 報告事項

令和2年度・3年度の文化財保護事業について（資料1）【公開】

2 協議事項

令和2年度・3年度の文化財指定等について（資料2）【非公開】

3 その他（資料3）【公開】

以上

公 開

平塚市文化財保護委員会 資料 1

令和 2 年度第 1 回文化財保護委員会

令和 3（2021）年 2 月 9 日

令和2年度の文化財保護事業報告

1 無形文化財保存事業

目的・内容

郷土芸能の継承と後継者の育成を図るために、民俗芸能まつりの開催、演技指導者の派遣、文楽伝承団体及び指定無形文化財の保存に対する支援を行います。

I 事業

名 称	第44回 ひらつか民俗芸能まつり、湘南座結成30周年記念公演 同時開催
日 時	11月15日(日) 12時30分から16時25分まで
場 所	平塚市中央公民館大ホール
内 容	人形浄瑠璃(高浜高校・湘南座・前鳥座) 囃子太鼓(入野太鼓保存会、田村ばやし保存会) 「湘南座結成30周年記念公演」は神奈川県文化芸術活動再開加速化事業補助金を受けて実施
その他	入 場 料: 無 料(新型コロナウイルス感染症対策として、人数制限・事前申込制) 主 催: 平塚市教育委員会 主 管: ひらつか民俗芸能まつり実行委員会、湘南座 来場者数: 234人 湘南座記念演目「義経千本桜」は詞章(太夫の語り)を字幕にして挿入し、YouTubeに動画アップした。また、民俗芸能まつりはSCN(湘南ケールネットワーク)の番組として放送された。

II その他各団体が活用している補助金

平塚市補助金交付団体(保存管理奨励補助金)

田村ばやし保存会

前鳥神社祭事保存会

前鳥神社囃子太鼓保存会

文楽人形伝承団体

相模人形芝居前鳥座

湘南座

高浜高校文楽部

III 各団体補助金・助成金の利用

① 令和2年度神奈川県文化芸術活動再開加速化事業補助金

湘南座 湘南座30周年記念公演 補助金額 94万円 新型コロナウイルス感染症対策費

② 公益財団法人明治安田クオリティオブライフ文化財団 令和2年度「地域の伝統文化保存維持費

用助成」 相模人形芝居前鳥座 助成金額 50万円。人形衣装と首（かしら）の新調

IV 演技指導者の派遣

人形浄瑠璃指導員として、下中座（小田原市）の林座長に指導を依頼している。今年度はこれまでに3回実施した。

2 エコ・ミュージアム推進事業

目的・内容

金目地区の自然環境、歴史、文化に関する遺産を再認識し、保存・展示・活用するため、「金目エコミュージアム」が策定した実施事業の推進に向けた取り組みを支援します。

協力事業

名 称	森照吉回顧展
展示期間	令和2年11月1日（日曜日）から11月15日（日曜日）まで
場 所	金目公民館
内 容	金目出身で明治から昭和の初めにかけて活躍した郷土の考古学研究者 森照吉が収集し、神奈川県立湘南高校に保管されていた遺物を展示。 湘南高校からの遺物の借用及び保管・展示に教育委員会が協力
その他	主 催：金目エコミュージアム 来場者数：約200人 ギャラリートーク 11月3日（火）13:00～14:15 参加者61名

3 歴史的建造物保存活用事業

目的・内容

国登録有形文化財である「旧横浜ゴム平塚製造所記念館（愛称：八幡山の洋館）」を市民の貴重な歴史財産として保存・活用し、管理運営を指定管理者制度により行います。

I テレビ撮影の許可 令和3年2月21日放送予定

BS朝日「建物遺産 一歴史的文化財を訪ねて一」 毎週日曜 夜10:54～11:00(6分枠番組)
番組内容（企画書）：「江戸・明治・大正・昭和に建築された「文化財建築」は時を経てもその価値を失うことなく、時代と共に生きています。その外観や内部の意匠を紹介し、建築主や建築家たちの思いや建物に関わる出来事などを織り込み、建物の芸術的・文化的・歴史的価値を紹介いたします。※国の重要文化財及び登録有形文化財を選定基準にしています。」

II 予定事業

名 称	八幡山の洋館 文化・歴史講座
(1)	

日程	令和3年3月6日(土) 午後2時から3時40分 (休憩10分)
題名	仮題 「“命のビザ” 杉原千畝とその周辺」
講師	宮川重信先生
内容	1940年 リトアニア共和国の日本領事館領事代理としてユダヤ人にビザを発給し、ナチスドイツの迫害から6000余りの人々を救った杉原千畝とその時代を考える。
(2)	
日程	令和3年3月13日(土) 午後2時から3時40分 (休憩10分)
題名	仮題 「平塚空襲について」
講師	土井浩先生(元平塚市博物館長)
内容	平塚に壊滅的な被害をもたらした昭和20年7月16日の空襲。この出来事が平塚の歴史にどのような影響を与えたのかを考える。

4 文化財保護事業

目的・目標

歴史的に貴重な文化財及び文化遺産を保護するために、指定文化財の保護活用や愛護意識の普及、埋蔵文化財調査及び出土遺物の整理を行います。また、文化財保護委員の職務に必要な経費等を支出します。

I 事業

名称	地区公民館事業等での勾玉づくり教室
内容	日時：令和2年11月21日(土) 10時～12時 場所：金田公民館2階ホール 材料費：公民館で材料用意、集金。1人250円。 社会教育課より講師派遣(2名)。新型コロナウイルス感染防止対策の上実施。 定員20名(ホール定員100人)募集。参加者11名。

II 埋蔵文化財資料の活用・調査・保管

① 資料貸出

内容	東京国立博物館への資料貸出
期間	令和2年4月1日から令和3年3月31日 (平成12年度から毎年度更新)
場所	東京国立博物館 平成館考古展示室
資料名	緑釉陶器 花文輪花碗(林B遺跡)、緑釉陶器 稜碗(山王B遺跡)、 緑釉陶器 蓮葉皿(林B遺跡)

内容	認定NPO法人高麗博物館へ画像提供
----	-------------------

展示期間	令和2年5月から
場 所	高麗博物館（東京都新宿区大久保1-12-1 第2韓国広場ビル7階）
資料名	山王A遺跡第4地点出土「佐波理匙と須恵器の破片」の写真画像

内 容	市立港小学校への考古資料貸出
期 間	令和2年11月9日
場 所	平塚市立港小学校
資料名	真田・北金目遺跡群出土の旧石器時代～弥生時代の石器・土器、城山横穴墓出土の装身具一式、構之内遺跡の石製品

内 容	神奈川県立歴史博物館 特別展「相模川流域のみほとけ」への資料貸出
展示期間	令和2年10月10日から11月29日
場 所	神奈川県立歴史博物館 特別展示室・コレクション室
資料名	平塚市教育委員会 ①「国厨」墨書土器 稲荷前A遺跡（平塚市指定文化財）、②「大住」墨書土器 稲荷前A遺跡、③「曹司」墨書土器 高林寺遺跡、④「大仏」墨書土器 天神前遺跡、 ⑤匙 山王A遺跡（平塚市指定文化財）、⑥瓦塔一括 神明久保遺跡 平塚市博物館 ⑦十一面観音菩薩頭上面 四之宮下郷廃寺跡、⑧経筒 南金目琉球山経塚 【参考 その他の平塚にかかわる展示物】 東京国立博物館蔵 真土大塚山古墳出土三角縁神獣鏡 平塚市指定文化財 宝積院薬師如来立像（平第7号）、明王院白衣観音菩薩坐像（平第40号）、善福寺阿弥陀如来立像（平第16号）、光明寺観音三十三応現身立像（平第34号）

内 容	令和2年度かながわの遺跡展「相模川遺跡紀行—3万年のものがたり—」へ画像提供
展示期間	令和2年12月24日から令和3年3月7日
場 所	あつぎ郷土博物館 12月24日～1月24日 神奈川県立歴史博物館 2月6日～3月7日【休館中】
展示内容	相模川流域の遺跡を通史的に追い、川と人間とのかかわりをテーマとする。
資料名	構之内遺跡 奈良・平安時代道路遺構の写真データ

内 容	神奈川県立歴史博物館 特別陳列「出土文字資料から見る古代の神奈川」への資料貸出
展示期間	令和3年2月6日から令和3年3月28日
場 所	神奈川県立歴史博物館 コレクション室 【休館中】

資料名	相模国府域出土「郡厨」「大住」ほか墨書土器・構之内遺跡出土「平」銅印および真田・北金目遺跡群出土墨書土器 計 17 点
-----	---

民間調査組織からの報告書刊行済みの出土遺物・記録図面類提出
 新町遺跡第 10 地点 平成 30・31 年度調査 株式会社玉川文化財研究所
 記録図面・写真類一式、出土遺物整理箱 14 箱 7 月 13 日收受

② 発掘調査と整理の状況

民間調査機関による発掘調査

遺跡名	面積 (㎡)	調査機関	調査期間	備考
新町遺跡第 11 地点	9671.5	(株)玉川文化財研究所	令和 2 年 1 月 27 日～ 令和 3 年 2 月 28 日 令和元年度から継続	工場建設 中村哲也
山王脇遺跡第 2 地点	125.4	(株)アーク・ワールドワークシステム	6 月 8 日～8 月 7 日	宅地造成 吉岡秀範
遠蔵遺跡第 8 地点	316	(有)相模考古学研究所	7 月 2 日～11 月 17 日	宅地造成 田村良照
天神前遺跡第 18 地点	820	(株)アーク・ワールドワークシステム	10 月 19 日～ 令和 3 年 1 月 22 日	老人ホーム 吉岡秀範

平塚市教育委員会による発掘調査

遺跡名	面積 (㎡)	調査期間・調査成果	備考
田村館跡第 5 地点 (田村)	約 33	11 月 17 日～12 月 1 日 検出遺構：中・近世の溝状遺構 1 条、土坑 6 基、ピット 65 基 出土遺物：土師器、須恵器、灰釉陶器 (奈良・平安時代)、かわらけ (中世) 整理箱 1 箱	個人住宅

神奈川県教育委員会による発掘調査

遺跡名	面積 (㎡)	調査期間	備考
山王 B 遺跡第 14 地点	209	令和 2 年 4 月 6 日～5 月 30 日	湘南新道拡幅 株式会社玉川文化財研究所 (西野吉諭、麻生順司)
諏訪前 A 遺跡第 16 地点	1,761	令和元年 12 月 17 日～令和 2 年 9 月 29 日	湘南新道拡幅 国際文化財株式会社 (土 任隆、木田 真)
七ノ域遺跡第 11 地点	1,327	令和 2 年 11 月 9 日～令和 3 年	湘南新道拡幅

山王B遺跡第15地点		4月23日	大成エンジニアリング株式会社 (宇井義典、板倉歆之)
------------	--	-------	-------------------------------

平塚市教育委員会による資料整理

「平塚市埋蔵文化財シリーズ53」 山王B遺跡第10・11地点（平成9・11年度調査）

「平塚市埋蔵文化財シリーズ54」 山王B遺跡第7地点（平成6年度調査）

「平塚市埋蔵文化財緊急調査報告書21」

北金目塚越遺跡23～27地点、大会原遺跡第7地点、天摩遺跡第3地点（平成29・30年度調査）

平塚市教育委員会による報告書の刊行

「平塚市埋蔵文化シリーズ50」 厚木道跡第8地点（平成6年度調査、平成29年度整理）

「平塚市埋蔵文化シリーズ51」 稲荷前B遺跡第6・7地点（平成5・6年度調査、平成30年度整理）

「平塚市埋蔵文化財緊急調査報告書21」 令和3年3月発行予定

北金目塚越遺跡第23～27地点、大会原遺跡第7地点、天摩遺跡第3地点（平成29・30年度調査）

③試掘確認調査の状況（2月5日現在）

個人住宅、宅地造成、平塚市事業他 81件（令和元年度 97件／年）

④埋蔵文化財窓口照会等の状況（2月5日現在）

文化財保護法93条（土木工事等のための発掘に関する届出及び指示）の届出 273件、

文化財保護法94条（国の機関等が行う発掘に関する特例）の通知 13件

包蔵地内および隣接地の事前相談 335件（令和元年度 558件／年）

Ⅲ 文化財防火デー 消防訓練

平成21年度（平成22年）より、文化財防火デーの前後に有形文化財の防火のための消防訓練を平塚市消防本部の主催で実施している。

目的

昭和24年（1949）1月26日に法隆寺金堂が焼損したことに基づき、毎年1月26日が「文化財防火デー」と定められている。平塚市においても、市内の貴重な財産を火災、震災その他の災害から守るため消防訓練を実施し、防火、防災意識の高揚を図るとともに、防災防御の錬成と消火技術の向上を図ることを目的とする。

訓練参加者

訓練場所関係者、平塚市消防本部、平塚市消防署、平塚市教育委員会社会教育課文化財保護担当

防火訓練実施日時・場所

日時	場所
平成22年1月26日（火）	旧横浜ゴム平塚製造所記念館（浅間町1-1）

平成 23 年 1 月 24 日 (月)	光明寺 (南金目 896)
平成 24 年 1 月 26 日 (木)	長楽寺 (札幌町 15-42)
平成 25 年 1 月 28 日 (月)	妙覚寺 (吉沢 388)
平成 26 年 1 月 28 日 (火)	真福寺 (馬入本町 14-10)
平成 27 年 1 月 28 日 (水)	金剛頂寺 (岡崎 3152)
平成 28 年 1 月 26 日 (火)	八剱神社 (下吉沢宮の前 771 番地 2)
平成 29 年 1 月 17 日 (火)	善徳寺 (南原 3-2-7)
平成 30 年 1 月 23 日 (木)	平等寺 (豊田平等寺 369) 参考：明治 40 (1907 年 11 月 22 日対岸入野の 火災により焼失)
平成 31 年 1 月 21 日 (月)	旧横浜ゴム平塚製造所記念館
令和 2 年 2 月 30 日 (水)	妙楽寺 (田村 5405)
令和 3 年 1 月 27 日 (水)	光明寺 (南金目 896)

指定文化財の防火査察

令和 3 年 1 月 20 日、25 日 18 か所 実施

(過去の実施状況 平成 30 年 1 月 31 日、平成 31 年 1 月 22 日、令和 2 年 2 月 28 日 各 17 か所)

5 ふるさと歴史再発見事業

目的・内容

平塚で暮らした作家、村井弦斎の功績を広く市民に周知するためのイベントを開催します。また、地域の歴史再発見の一助とするため、市内各地に設置した説明板等について必要な修繕を行います。

—以 上—

平塚市内の指定文化財一覧

令和2年4月1日現在

1. 国指定文化財 3件（彫刻1、建造物1、史跡1）

員数	種別	名称	員数	指定年月日	所有者・保持団体
1	有形：彫刻	木造 不動明王立像	1軀	昭8. 1. 23	(宗) 八剱神社
1	：建造物	光明寺本堂内厨子 (付) 前立聖観世音菩薩像	1基	昭45. 6. 17	(宗) 光明寺
1	史跡	五領ヶ台貝塚	—	昭47. 7. 29	平塚市

2. 神奈川県指定文化財 8件（彫刻2、工芸品1、建造物2、有形民俗2、無形民俗1）

員数	種別	名称	員数	指定年月日	所有者・保持団体
1	有形：彫刻	木造 大日如来坐像	1軀	平3. 2. 8	(宗) 高林寺
2	： "	木造 金剛力士立像	2軀	平3. 2. 8	(宗) 光明寺
1	：工芸品	光明寺銅鐘	1口	昭33. 9. 20	"
1	：建造物	四脚門	1棟	昭48. 12. 21	(宗) 妙覚寺
2	： "	光明寺観音堂 (本堂)	1棟	昭54. 2. 16	(宗) 光明寺
1	：民俗	正福寺の庚申塔	1基	平18. 2. 14	(宗) 正福寺
2	： "	長楽寺の庚申塔	1基	平18. 2. 14	(宗) 長楽寺
1	無形：民俗	相模人形芝居前鳥座	—	昭57. 2. 9	前鳥座

3. 平塚市指定文化財 46件（絵画15、彫刻12、建造物2、古文書2、古記録3、考古7、民俗1、工芸品1、無形民俗3）

員数	種別	名称	員数	指定年月日	所有者・保持団体
1	有形：絵画	絹本着色 僧空海画像	1幅	昭33. 9. 9	(宗) 芳盛寺
2	： "	風外慧薫墨画・墨蹟	16幅	平6. 1. 20	平塚市博物館
3	： "	大山寺縁起絵巻	2巻	平6. 1. 20	"
4	： "	中原御宮記	1巻	平6. 1. 20	"
5	： "	絹本着色 観世音菩薩三十三身曼荼羅	1幅	平9. 10. 1	"
6	： "	絹本着色 法然上人像	1幅	平7. 10. 25	(宗) 善徳寺
7	： "	絹本着色 観心十界曼荼羅図	1幅	平7. 10. 25	(宗) 長善寺
8	： "	絹本着色 親鸞聖人像・浄土七高僧像 聖徳太子像・蓮如上人像	4幅	平7. 10. 25	(宗) 真福寺
9	： "	紙本墨画淡彩 十六羅漢図	双幅	平8. 10. 1	(宗) 福田寺
10	： "	紙本着色 十王図	双幅	平8. 10. 1	"
11	： "	紙本着色 涅槃図	1幅	平11. 10. 1	(宗) 神田寺 (旧観音寺)
12	： "	紙本着色 十王図のうち五道転輪王	1幅	平11. 10. 1	"
13	： "	紙本版摺着色 十二天像のうち十一天	11幅	平15. 10. 22	(宗) 芳盛寺
14	： "	紙本着色 如意輪観音像	1幅	平15. 10. 22	(宗) 長善寺
15	： "	東川斎桂山筆 不動明王二童子像	1幅	平28. 2. 3	個人 (平塚市博物館寄託)
1	：彫刻	木造 聖観世音菩薩立像	1軀	昭35. 3. 31	(宗) 光明寺
2	： "	木造 薬師如来立像	1軀	昭45. 6. 13	(宗) 宝積院
3	： "	木造 薬師如来立像	1軀	平4. 3. 5	(宗) 正福寺
4	： "	木造 十二神将立像	12軀	平4. 3. 5	"
5	： "	木造 阿弥陀如来立像	1軀	平4. 3. 5	(宗) 善福寺
6	： "	木造 地藏菩薩坐像	1軀	平4. 3. 5	(宗) 善徳寺
7	： "	木造 薬師如来坐像	1軀	平4. 3. 5	(宗) 平等寺
8	： "	木造 阿弥陀如来及び観音・勢至両菩薩立像	3軀	平4. 3. 5	(宗) 薬王寺
9	： "	木造 地藏菩薩半跏像	1軀	平5. 3. 3	(宗) 延命寺
10	： "	木造 観音三十三応現身立像	33軀	平12. 9. 30	(宗) 光明寺
11	： "	木造 白衣観音菩薩坐像 (聖観音菩薩坐像)	1軀	平22. 12. 10	(宗) 明王院
12	： "	木造 閻魔王坐像	1軀	平25. 2. 20	(宗) 妙楽寺
1	：建造物	金目観音堂二 (仁) 王門	1棟	昭60. 11. 25	(宗) 光明寺
2	： "	北金目神社本殿	1棟	平6. 10. 20	(宗) 北金目神社
1	：古文書	光明寺古文書	2巻	昭35. 3. 31	(宗) 光明寺
2	： "	清田家 (尼屋) 文書	6通	昭37. 2. 8	個人 (平塚市博物館寄託)
1	：古記録	光明寺縁起書	1巻	昭35. 3. 31	(宗) 光明寺
2	： "	駒形神社棟札・勸化札	11枚	昭35. 10. 30	(宗) 駒形神社
3	： "	北条氏所領役帳	1冊	昭61. 1. 24	個人 (平塚市博物館寄託)
1	：考古資料	「国厨」墨書土器他 稲荷前A遺跡第1地点 1号竪穴住居址出土資料 一括	—	平16. 10. 1	平塚市教育委員会
2	：考古資料	変形四獣鏡他 真土大塚山古墳出土資料 一括	—	平22. 2. 1	平塚市教育委員会
3	：考古資料	弥生土器 広口壺1点、長胴壺1点	2点	平27. 2. 4	平塚市 (土沢中学校所蔵)
4	：考古資料	弥生土器 壺6点、甕1点、小形筒形土器1点、小形鉢形土器1点	9点	平27. 2. 4	東海大学
5	：考古資料	弥生土器 甕2点	2点	平27. 2. 4	平塚市教育委員会
6	：考古資料	佐波埋地他 山王A遺跡第4地点1号掘立柱建物跡出土埋納資料	1括	平28. 2. 3	平塚市教育委員会
7	：考古資料	把手付き片口鍋他真田・北金目遺跡群18A区 (大久保遺跡) 3号竪穴住居址出土資料一括	1括	平30. 2. 26	平塚市教育委員会
1	：民俗資料	乙女文楽首 (56点) 衣裳 (167点) 他一括	—	平17. 11. 28	平塚市教育委員会
1	：工芸品	鉄舌長燈	1点	平26. 1. 30	平塚市 (平塚市博物館所蔵)
1	無形：民俗	田村ばやし	—	昭51. 11. 24	田村ばやし保存会
2	： "	前鳥神社祭事	—	昭54. 2. 20	前鳥神社祭事保存会
3	： "	前鳥囃子	—	昭61. 1. 24	前鳥神社囃子太鼓保存会

4. 国登録有形文化財 5件（建造物5）

員数	種別	名称	員数	登録年月日	所有者・保持団体
1	建造物	旧横浜ゴム平塚製造所記念館	1棟	平16. 7. 23	平塚市
4	建造物	原家住宅	4棟	平31. 3. 29	個人

合計 62件

令和2年度 文化財防火デー消防査察先一覧

査察先	住所	所有者	指定重要文化財名称
1 妙楽寺	平塚市 田村	木村 義伸	木造閻魔王坐像
2 正福寺	平塚市 大島	木村 義伸	正福寺の庚申塔〔県〕、木造薬師如来立像、木造十二神将立像
3 光明寺	平塚市 南金目	大久保 良允	本堂内厨子(付)前立聖観世音菩薩像〔国〕、銅鐘〔県〕、光明寺金目観音堂〔県〕 木造金剛力士像〔県〕、木造聖観世音菩薩立像、木造観音三十三応現身立像 二(仁)応門、古文書、縁起書
4 北金目神社	平塚市 北金目	永井 武義	北金目神社本殿
5 芳盛寺	平塚市 土屋	高橋 芳照	紙本版摺着色十二天像のうち十一天
6 延命寺	平塚市 上吉沢	大久保 良尚	木造地藏菩薩半伽像
7 妙覚寺	平塚市 上吉沢	大久保 良彦	四脚門〔県〕
8 善福寺	平塚市 広川	長尾 光昭	木造阿弥陀如来立像
9 薬王寺	平塚市 纏	塚田 善厚	木造阿弥陀如来及び観音・勢至両菩薩立像
10 宝積院	平塚市 上平塚	澁谷 堯俊	木造薬師如来立像、木造十二神将立像
11 明王院	平塚市 徳延	遠藤 宏信	木造白衣観音菩薩坐像
12 善徳寺	平塚市 南原	三荒 弘道	絹本着色法然上人像
13 福田寺	平塚市 入野	井澤 孝一	紙本墨画淡彩十六羅漢図、紙本着色十王図
14 平等寺	平塚市 豊田平等寺	柳川 洋賢	木造薬師如来坐像
15 高林寺	平塚市 四之宮	足立 眞一	木造大日如来坐像〔県〕
16 長善寺	平塚市 東八幡	一 眞光	絹本着色観心十界曼荼羅図、紙本着色如意輪観音像
17 真福寺	平塚市 馬入本町	秦 康昭	絹本着色親鸞聖人像、聖徳太子像、浄土七高僧像、蓮如上人像
18 八幡山の洋館	平塚市 浅間町	平塚市	旧横浜ゴム平塚製造所記念館〔国(登録)〕

※1/25(月)

※指定重要文化財で、〔国〕は国指定、〔県〕は県指定のもので、他は市指定のもの。

公 開

平塚市文化財保護委員会 資料3

令和2年度第1回文化財保護委員会

令和3（2021）年2月9日

土屋芳盛寺 十一幅

(四) 十二天像

紙本版摺着色 各九五・八×三六・三

桃山時代(文禄元年一二五九)

〔軸木銘〕

十二天像 拾二幅 文禄元年三月

土屋山什物

宝曆元年九月修復了

密信

巴上右此

天保十五辰九月修復了

浄識

表具金子村

忠兵衛

〔開魔天像 幅裏貼付紙〕

炎魔天第十二 天保十五辰九月修復

土屋山

浄識

〔新箱蓋裏銘〕

〔當寺什寶十二天画像は長年月を経過せしため

破損夥しく茲に宗祖大師御誕生千二百年を記念

し修理をなす

昭和四十八年一月 芳盛寺住職高橋妙瑛七十才

大経師 山田睦雄

墨調を活かした淡彩風のものだが、軸木に文禄元年の銘が再録されており、そのおらかな作風からもこの時期においてよいものである。桃山期の基準作として極めて貴重なものである。

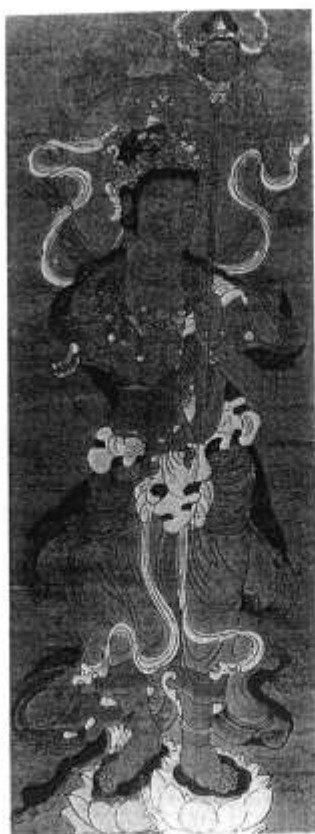
なお三種の銘文から、宝曆元年(一七五二)、天保十五年(一八四四)、昭和四十八年と、修補されたことがわかる。



帝釈天



火天



閻魔天

②



毘沙門天



水天



羅刹天



地天



梵天



伊舍那天

(五) 十二天像

紙本版摺着色 各一〇二・〇×三九・一

江戸時代

版摺の双幅で一幅に六体ずつを描く。右幅には帝釈、火天、閻魔天、梵天、日天、伊舎那天を、左幅には地天、月天、毘沙門天、風天、水天、羅刹天を描く。彩色は朱、緑、青などを主体とした鮮やかなもので、保存も完好である。ちなみに妙覚寺に同版の十二天像がある。



月天



日天

双幅

(六) 阿字観

紙本着色 六〇・六×三八・九

江戸時代

阿字観は月輪を覗く月輪法ともいい、月輪の中に阿弥陀の種子キリクを描く。本図は胡粉地の円窓の中に、胡粉で蓮台を描き、「阿」字部分に金箔を貼る。背景は墨一色で仕上げる。



一幅



平塚市文化財調査報告書 第三十二集

平成九年三月三十一日

編集
発行

平塚市教育委員会

〒三岳 平塚市浅間町九十一

☎〇四六三(三三)一七一

印刷

錦栄林堂印刷所

多い。

像高一四五・〇、袖張六一・一、腹厚三三・五、台座高五八・〇。
寄木造、玉眼嵌入、漆箔。
江戸時代の作。

9 木造弘法大師坐像

一編

右手に五結、左手に念珠を持つ通常の坐像。総体に仕上げは丁寧である。左手は後補。像が台座に固定されており、底部が見られないため、造立年代の推定がむずかしい。江戸末期か、あるいは近代の作品かもしれない。

像高一二・四。台座高一二・〇。
寄木造、玉眼嵌入、漆箔。

10 木造聖観音菩薩立像

一編

境内に建つ観音堂の本尊。両手とも肘を屈し、右手は第一指と第二指とを捻じ、左手は手首から先を欠く。光背は蓮弁形拏身光。彫技は硬いが細緻である。

像高一七・七、光背高三三・三、台座高一五・二。

一木造、彫眼、黒塗り。

江戸時代の作。

五、正福寺

臨済宗建長寺派。寺史について、『風土記』は次のように記す。

「大島山と号す。臨済宗田村妙榮寺末、開山義堂空華（寛文二年四月四日卒）、寛文中の記録に、養老二年の開闢とあり、是に換れば義堂は中興開山なるべし、中興開基、保々半左衛門貞長（延享元年正月五日卒、香園院文宗廟と号す、本尊釈迦）」

境内には薬師堂があり、同書は「本尊は行基作なり長三尺」と書く。

11 木造釈迦如来坐像

一編

正福寺の本尊。禪定印を結ぶ通肩の像。服制・衣文表現ともに中世の宋元風を踏襲しているが、彫技は総体に硬い。像が台座に固定されているため、底部の銘文の有無は確認できなかった。漆箔は新しい。

像高三三・七、膝張二六・六、光背高五三・五、台座高三一・九。
寄木造、玉眼嵌入、漆箔。

江戸時代の作。

2 銅造聖観音菩薩坐像

一編

もとは懸仏（かぶつ）であったと思われるが、いまは鏡面がない。両手を屈臂し、左手には本体と一鑄の蓮華を持つ。宝冠は高く、面部・体軀とも量感を備え、衣文もある程度の柔軟さを保ち、総体によくまとまっている。

総高一四・八、膝張八・一。

蓮台とも一鑄。

室町時代の作。

3 木造菩薩形立像

一編

境内薬師堂の厨子内に本尊のような形で安置する。全体に風化と虫喰いが甚だしく、面部は磨滅し、両手もないが、高い宝髻や腹部下方の天衣などから、菩薩の像と推測できる。素人風の素朴な作品で、造立年代の判定がきわめてむずかしい。後考にまつ。台座は後補である。像高九六・五、台座高一・〇。

一木造、素木。

造立年代未詳。

4 木造薬師如来立像

一編

薬師堂に安置。左手に薬壺を持つ施無畏・与願印の像。立っている台座は後補で、裏面に次のような墨書銘がある。

大嶋村

正福寺本尊

鎌倉扇谷村

大佛師加賀(花押)

寛文十年戊辰四月吉日

作之

肉髻殊・白毫・右手・足納なども後補。両足のほか、右手第一指・左手の第一指と第二指を欠失、右袖の前面部は剝離して別に保管されている。江戸時代に施されたと思われる漆箔や補修のため詳細は見定めにくい。顔部は前後二材からなり、頸部で割り短ぎ、体部も前後に大きく短ぎ、両袖部を寄せているかのようである(構造については将来修理をおこなう時の精査に期したい)。内刻りは深く、目方はきわめて軽い。小粒の螺旋・丸い顔・穏やかな目鼻立・浅めの衣文の刻出

等は、平安時代後期のいわゆる和様の特色を示す。両袖部や背面の皺の表現にもよく神経がゆきとどいている。「風土記」の伝える行基作はもちろん伝説にすぎないものの、平塚市内に遺る仏教彫刻の中では早期の一例として、きわめて価値が高い。現在は厨子の外に前立像の形で祀っているが、この像が薬師堂本来の本尊なのであろう。

なお、寛文十年(一六七〇)に台座を補造した加賀は、十七世紀後半に活躍した鎌倉仏師の一人で、横浜市満蔵院弘法大師像(寛文十二年)・鎌倉市辻ノ薬師堂不動明王像(同十三年)・秦野市東光寺毘沙門天像(延宝九年)・逗子市宗泰寺十王像十軀(貞享二年)等々、十点をこす遺作が確認されている。

像高九七・四、面長九・〇、面巾九・二、裾張二〇・四、胸厚二二・九、腹厚一五・八、台座高一六・一、台座巾三二・二。
寄木造、彫眼、肉身部漆箔、着衣部黒塗り。
平安時代後期の作。

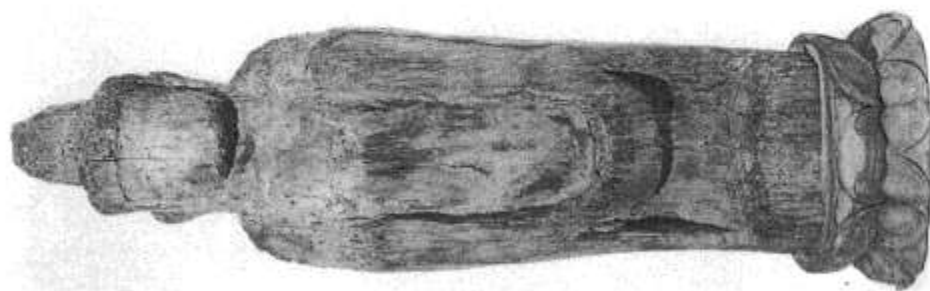
4 木造日光・月光両菩薩立像

二編

前記した薬師如来立像の脇侍。両像とも、光背・宝冠・台座等を欠失。日光菩薩像は、飛雲上に日輪形をのせた柄の長い持物を両手で持ち、両足先を欠く。月光菩薩像の方は、手首先を含む右袖前部・持物・足部を欠いている。彫技はいずれも硬く、中尊像よりも後世の補造である。

像高・日光四一・〇、月光三六・二。
二軀とも木造、彫眼、肉身部漆箔、着衣部黒塗り。

⑫ 正福寺薬師堂一一 菩薩形立像

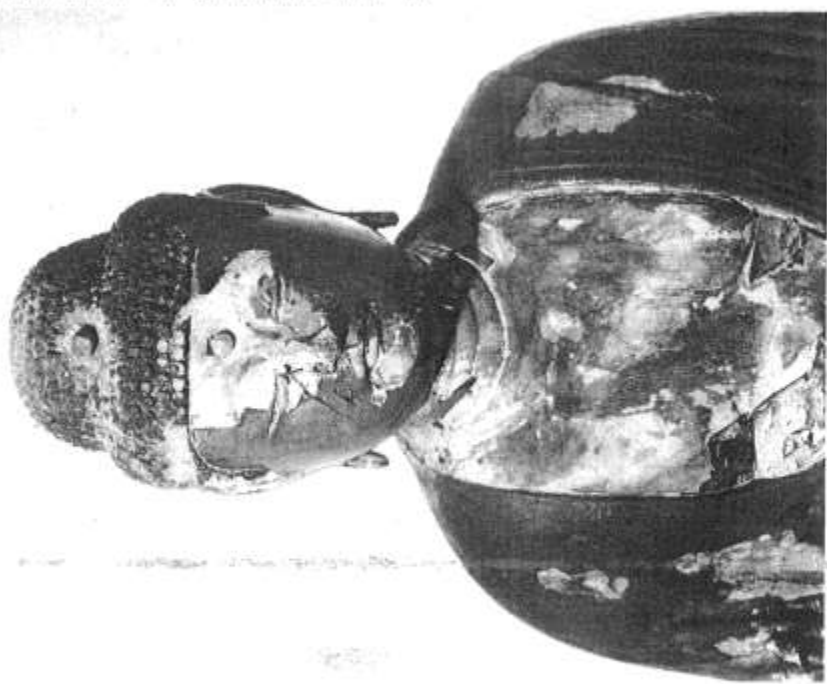


(正面)



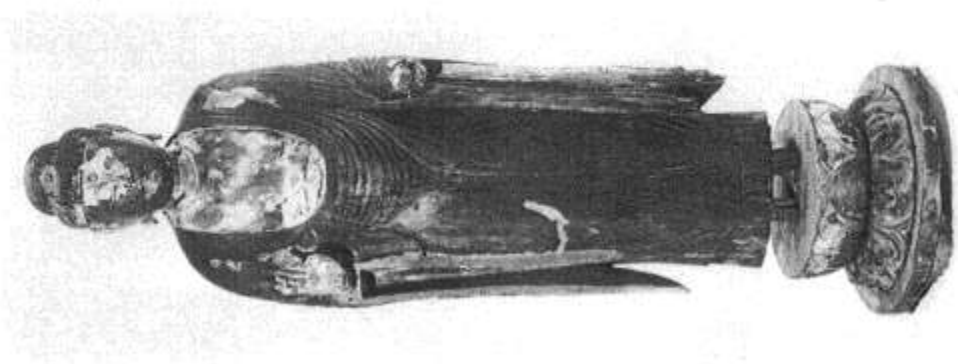
(側面)

⑬ 正福寺薬師堂一一 薬師如来立像 (上半身)

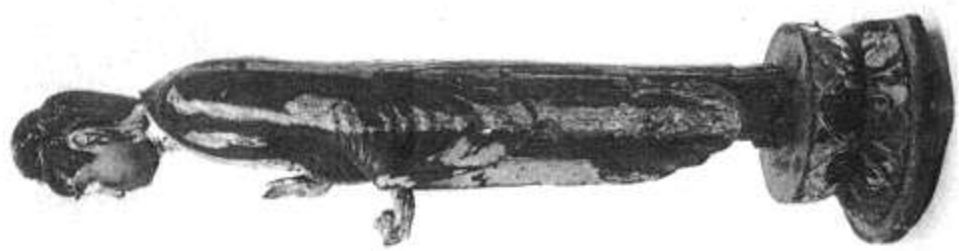


① 正禪寺藥師堂一一藥師如來立像

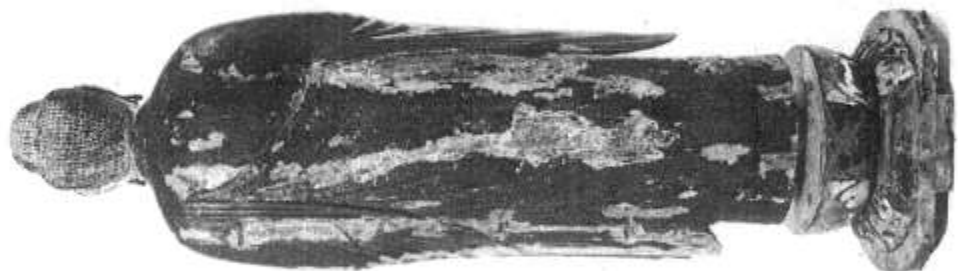
(正 面)



(側 面)



(背 面)



平塚市文化財調査報告書 第十八集

昭和五十八年三月三十日 印刷

昭和五十八年三月三十一日 発行

編集 平塚市文化財保護委員会

発行 平塚市教育委員会

印刷 有限会社とりうみ印刷

平塚市見附町八一七
電話 ○四六三 〇二七三九四